

## レーザー、光治療の前処置について

時間がない場合はすぐにレーザーや光を照射することは可能ですが特にシミなどの場合は最大の効果を得るために「前処置」をおすすめします。「前処置」とは照射前に1ヶ月程度、**飲み薬**および**塗り薬**を使用していただき皮膚を最善の状態にもっていくことです。

シミは皮膚の奥にメラニンがたまることによって出現しますが、もともと皮膚の表面にもメラニンがあるためすぐにレーザーを照射した場合、表面のメラニンにレーザーが吸収され、シミのもとになる奥のメラニンに届かなくなります。効率よく皮膚の奥のメラニン色素を分解するためには表面のメラニンを1ヶ月前からの**飲み薬**と**塗り薬**によってなるべく少なくしておくことが大切です。また「前処置」をしていただくことによってレーザー、光治療後の色素沈着(シミがとれた後にその部分が茶褐色に変化すること)の確率が少なくなります。肝斑と老人性色素斑が混じている場合は前処置後の照射を強くおすすめします。

**飲み薬**→シナール(ビタミンC)、ユベラ(ビタミンE)、ハイチオール(L-システイン)、トランサミン(トラネキサム酸)の4種類のお薬になります(美肌内服セット:1カ月分2625円)。それぞれ1回あたり1錠、1日2回~3回内服してください(肝斑がある方は3回の内服をお勧めします)。薬の袋には1日2回内服した場合、28日分で終了する分の薬が入っています。ちなみに市販でもトランシーノという商品名で肝斑のためとして飲み薬が売っています(6000円程度)。レーザー前に内服がなくなった場合は薬のみの購入は可能性ですので受付でお伝えください(予約不要)

ピルを服用中の場合はトランサミンを除いた美肌内服セット(1ヶ月2100円)となります。

### **塗り薬**

#### 1. DR-X HQ-E 軟膏(ハイドロキノン:6g2100円)

ハイドロキノンにはメラニンの生成を阻害することによりシミを薄くします。朝晩の洗顔後に化粧水、乳液などでお肌を整えたあと塗ってください。なおハイドロキノンだけでもしみは薄くなるが多いためレーザーをする部位以外のシミにもお使いください。またハイドロキノンにはレーザー後かさぶたが取れたあとにも色素沈着予防のためにも用います。

#### 2. トレチノイン軟膏(オバジ社製 5g 0.05%2625円 0.1%3150円)

ハイドロキノンの使用前に薄く綿棒で塗ります。皮膚のターンオーバーを早めメラニンを外に排出します。したがってハイドロキノンとは別の作用機序でシミをうすくします。両方の軟膏を使用する場合は別紙をご参照ください。